

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョン F. ジャーム
 第 2550 地区ガバナー：栃木 秀麿
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-34
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2765回 村山年度 第31回 会報 2017 2-22 司会 豊田哲司君

会長挨拶 村山茂会長



皆様、今日は。本日は何の脈絡もなく、イギリスの食文化についてお話しいたします。イギリス料理の名物とは聞かれて、パッと思いつく方はいらっしゃいますか。ローストビーフ、紅茶くらいで、他にはなかなか思いつきません。何年か前のテレビで、イギリスの港湾労働者が出入りする食堂が紹介されていて、その中で「うなぎパイ」が昔から人気の料理だったという取材報道がなされていました。かつてのテムズ川ではウナギが沢山獲れ、栄養豊富で安価だったため食材として重宝されたそうです。たまたま、そのころに私の娘がロンドンへ遊びに行くというので、「うなぎパイ」を食べて、感想を聞きたいと頼んだところ、残念ながら見つからなかったということがございました。何れにしても、イギリスとうなぎではイメージが全く合いません。

イギリス料理については、あまり評価が高くない、むしろ、不味いという評判を聞くことが多いと思います。私も、実際に現地で食べたことが無いにもかかわらず、そう思い込んでいる一人ですが、フレンチやイタリアンのお店はどこにでもあります、ブリティッシュは滅多に無いのも事実です。ただ、イギリス人は牛肉をよく食べるそうです。しかも、あまり野菜はとらないそうです。なぜか、土壌中に腐食層が少なく、ジャガイモはとれますが、野菜はあまり育たなかったそうです。特に、冬場の野菜不足は深刻でした。イギリスがアイルランドを植民地支配し、農作物の供給基地としたのはそうした事情も要因の

ひとつとしてあったそうです。アイルランド人は、実質イギリスの農奴でした。

そんな中で、オリバー・クロムウエルが護国卿に就任し、イギリスの支配階層となったのが、いわゆる「ジェントルマン」と呼ばれる人たちでした。ジェントルマンは、「暴飲暴食せずに質素な食事を好む」と決めていました。これがイギリス料理の発展に致命的な足かせとなりました。

そして18世紀後半、イギリスに産業革命が起こり大量生産が可能になると、就業機会が飛躍的に増え、農村部から多くの人たちが都市部に、特に、ロンドンに流入しました。農村部に人が多くなったときは自給自足が可能だったわけですが、都市部で人口が増えると、お店で食材を買いそろえる必要が出てきます。ここで料理文化の断絶が起こりました。お金のない低所得者層は、ろくな食事もとれず栄養状態は悪化していきました。

19世紀半ばになると、トロール漁法が発明され、これにより魚が都市部にも流通するようになり、フィッシュフライとフライドポテトをセットで提供する料理（フィッシュアンドチップス）が出回るようになりました。今でいうファーストフードです。ただ焼くだけ、茹でるだけといった料理しか食べられなかった低所得者層にとっては、とてもありがたい食べ物だったそうです。「うなぎパイ」もそのひとつ？

一方、ジェントルマンは相変わらず「ジェントルマンはかくあるべし！」といった精神をさらに深化させていきます。また、当時はサーバント制度という、若者が家を離れ、他の家庭に住み込み、家事に従事するという習慣がありました。いわば、社会に出る前の修行のようなものです。その中で、食事をつくるのも仕事でしたが、料理経験のない若者が作る料理がおいしいはずがありません。ですから、いわゆる「おふくろの味」が継承されることはなかったのです。イギリス料理に対する今日に至る不評は、こうした経過があったということがございます。以上、

出席報告 出席委員会 安藤讓治君君

(出席規定の免除会員数5名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 2月22日	38(5)	25(3)	13(2)	69.4%		
前回 2月15日	38(5)	29(2)	9(3)	82.9%	5人	97.1%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

ご清聴有難うございました。

幹事報告 植竹一裕幹事



第31回幹事報告です。

- ガバナー事務所より2017-18年度「地区研修・協議会」開催の案内が届きました。稲垣次年度幹事にお渡し致しました。
- 2016年度手続要覧が届きました。注文されて本日出席されている方にお渡しし、欠席された方の分は各々のポストにお入れしました。

委員会報告 荒井昌一副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

● 秋間 忍 君



2月18日、2017-18年度地区委員として地区チーム研修セミナーに参加してまいりました。私自身も何をする委員会かよく分かりませんでした。私は地区の公共イメージ委員会に配属されました。研修会を受け、公共イメージ委員会はロータリーの認知度を向上させるという課題に取り組む地区の広報委員会と考えていいのではないかという思いに至りました。

及ばずながら黒磯ロータリークラブからの出向者として誠意お役目を果たしたいと思っております。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

ニコニコボックス 瀬尾紀夫君

村山茂君 三寒四温ご自愛ください。



鈴木隆子君 結婚祝いありがとうございました。黒磯に来て35年になります。人生は不思議です。

卓話 会長クラブ協議会

本日は会長によるクラブ協議会ということでございますので、2016-17年度上半期を振り返りながら、下半期の活動あるいは将来にも繋がるようなクラブのあり方等について、皆様と共に考えてみたいと思っております。

最初に上半期の活動状況ですが、

① 例会:23回(内、外来卓話7回)

例会は、クラブ運営の根幹になるもので、極めて重要です。今般の規定審議会において、開催要件が緩和されましたが、黒磯クラブとしては当面、現状を継続することといたしました。ただし、今後ともその在り方については、検討するという事も確認されました。また、楽しく意義ある例会の開催ということで、外来卓話の活用もお願いしたところですが、上半期では次の通り7回実施されました。

- 7月13日: 栃木秀磨ガバナー: 公式訪問
- 7月27日: ヴァジャラアジャ.アジャリ.ビジィ様 (ネパール)
- 9月 7日: 宇都宮RC飯村国際奉仕委員長: 国際奉仕委員会
- 9月14日: (株)パン・アキモ 代表 秋元義彦様: 雑誌委員会
- 9月28日: 那須塩原市健康増進課主査 佐藤俊子様: スマイルボックス委員会
- 10月12日: 米山記念奨学生 蘇 呈歡君 : 米山記念奨学会
- 10月19日: UAO代表 伊藤麻理 様: 社会奉仕委員会

例会は相互理解と親睦を深め、それを活力に奉仕活動を行う。従って、週1回の開催は、クラブ創設以来55年余り継続されてきました。本日はクラブ協議会でございますので、今後の例会の在り方について、皆様の忌憚のないご意見を頂戴いただければと思いますのでご発言ください。

● 月江寛智 君

本日手続要覧を頂きました。見て頂ければわかる

と思いますが、今までの2分の1の量になり非常に簡潔になり、また読みやすくなりました。今回の改定はクラブに任された部分が大変多くなりました。



前にも言いましたが、国際ロータリーの定款と細則、またクラブの定款の3つは守らなければなりません。変更する場合は規定審議会に意見を出して改定する手続きとなります。クラブ細則については、今回、クラブに譲られた部分が沢山出来ました。例会についても例外ではなく、地区内グループを見ましても例会の回数を変更しているクラブがあります。季節によって回数を減らしたクラブもあります。当クラブは今まで通りの方針で特に手を付けませんでした。定款細則検討委員会でもクラブの方針を踏まえて変更しませんでした。でもどうなのでしょう、例会の回数については、もう少し考える必要があるのではないのでしょうか。現状、年4回休会をとっても良いことになっていますが、さらにクラブの事情により回数を変えても良いわけです。例えば休日がある週は、その週の例会は休会にすることができます。

例会を減らすことがよいことなのかは分かりませんが、ロータリーはやはり例会が中心ですから、クラブ運営を損なわない範囲で、皆が出席しやすいように決めていくことが大切なのではないのでしょうか。

● 高木茂君



次年度会長の高木です宜しくお願いします。私としては、月江先生からお話が有りましたように、例会は皆様が出席しやすいよう月3回程度の例会にしたいと思っています。これから理事会に諮り、その後、皆様に決をとって頂きたいと思っています。その他、会費の見直しとか入会金の見直しとか皆様が出席しやすい、また新メンバーが入会しやすいようなロータリーを目指します。宜しくお願いします。

● 村山茂会長

② 対外的活動状況について

ロータリークラブは、奉仕の実践が命でございます。奉仕と申しましても様々な形があることはご承

知のとおりでございますが、黒磯クラブとして継続的あるいは新規の奉仕活動を振り返りますと、

- 8月20日：第20回インターアクト年次大会：青少年奉仕
- 8月22日：第2回那須塩原ミルフィーカップジュニアテニストーナメント：地区資金
- 9月24日：ふれあい広場：社会奉仕
- 10月23日：那須野巻狩まつり：社会奉仕
- 11月3日：那須塩原ハーフマラソン大会：社会奉仕
- 11月19日：那須塩原市小学校対抗駅伝競走大会：社会奉仕
- 11月21～23日：第2550地区大会一連：全員登録

概ね、以上のような活動状況でございました。今後下半期は、インターアクトの台湾研修、足尾の植樹、那珂川水質調査等が予定されております。

この対外的活動の中で全員参加型は、ふれあい広場、足尾の植樹と那珂川水質調査ですが、植樹と水質調査は段々と参加者が減少しております。水質調査は源流であるため、それなりの装備と体力が必要かつ2日間を要しますので、なかなか全員参加というわけにもまいりません。従いまして、今後、全員参加型の奉仕活動について、具体的にアイデアがございましたら、ご意見を賜りたいと思います。

③ 会員親睦について

毎週開催の例会が、親睦の要であることは先ほども申し上げましたが、そればかりという訳にもまいりません。従いまして、観月会、クリスマス会、新年会、夜間例会等のプログラムを設けております。これで充分とお考えの方もおられるとは思いますが、奉仕活動とコラボして全員参加型で楽しんで、無理なくできるようなことが出来ないかなと思っております。例えば、ハイキングをしながらの清掃活動とか、何かを楽しみながら奉仕活動をする。かつ、それを野外例会とするとか。皆様のご意見を賜りたいと思います。

● 大島三千三君



クリスマス家族会のように、自分の家族、子供や孫を招いて、例えば河川敷河畔公園を清掃し、その後、に昼食に楽しいバーベキューをする。家族皆で奉仕の心を広める活動を年2回程度行ってはと考えます。

● 瀬尾紀夫 君



ずいぶん前にはなりますが、あったかハート号に参加しました。ロータリーとして、体の不自由な人、また高齢な方が外に出られるよう、実際に車椅子を押して交流を計ってみては如何でしょうか。

● 和気勝利 君



ロータリー会員のあったかハート号への参加は私の記憶では、ここ20年の間に、たぶん会長が1、2度その年の社会奉仕委員長が1、2度のように記憶しております。すでにロータリーからは毎年寄付を頂いておりますし、それで十分なご協力と思っております。只今、瀬尾さんがおっしゃられた様に、実際に車椅子を押して、身体障害者や知的障害者の方と接して頂けるのであれば、人数に制限はありませんので、是非とも参加頂ければ有難いと思っております。

● 田中徹 君



いろいろなボランティア団体が在りますが、ロータリーとして係るのであれば、クラブとしては、どのように関与するかをまず決めないと、団体への活動が先細りになると思います。

また、ボランティア団体には積極的に参加して頂きたい団体と、資金面を重視する団体とがあります。あれもこれもではなく、活動を継続するためには委員会なりを設けてじっくり関与する姿勢が必要だと思います。

● 秋間 忍 君

ロータリーの存亡かかかる最大の課題は会員拡大だと言われております。

しかし、最大の課題は我々メンバー自身がロータリー中心的な自己満足に陥っていないかと考えるようになりました。もっとメンバーがメンバー以外の方々とも意見を交わす機会を増やしてはいかがでしょうか？

例えば今ロータリーが取り組んでいる課題、世界平和、身近な青少年問題、社会問題、飢餓対策、ポリオ撲滅運動などについて、メンバー以外の方々とも話す機会が増えれば、これらをなんとかしたいと考える人々、仲間、同志、隠れたメンバーを見つけることが出来るような気がいたします。その意味で、那須塩原市にも貧困に悩む小中学生がいるという情報に対し、ロータリーの垣根を越えてでもすぐ取り組もうとする村山会長の行動は評価できると思います。

● 村山茂 会長

④ まとめ

本日は、皆様より様々なご意見を頂戴いたしました。誠に有難うございました。何れにいたしましても、クラブの活性化を促し、そのことが地域社会に浸透することによって新しい奉仕の実践を志す職業人を引き付け、さらに活動の輪が広がるといった好循環を生み出すよう心から願うものであり、そのように頑張りたいと考えております。

結びになりますが、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、本日のクラブ協議会を終了いたします。有難うございました。

2月22日欠席(敬称略)

秋葉秀樹・荒牧明二・遠藤清和・大森貞男
神山徳久・吉光寺政雄・津久井誠二・檜山達郎
平山博・深町彰・藤崎善隆・高木慶一・時庭稔

前回 2月15日分メイクアップ(敬称略)

鈴木久雄・鈴木隆子・時庭稔・高木茂
福田逸男

次回例会

平成29年 3月 1日

担当 広報委員会

近隣クラブ例会日

○ 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○ 水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
○ 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○ 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
○ 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
○ 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：稲垣政一・鳥居輝一・秋間 忍・高木慶一・安藤譲治